

汚染土壌等処理対策実施計画書

年 月 日

(宛先) 川崎市長

対象地に係る土地所有者、事業者、管理者のうちいずれかの者で、本処理対策の実施について責任を持てる者の氏名を記入してください。

郵便番号 〒○○○—○○○○
住所 東京都○○区○○丁目○-○
○○工業株式会社
氏名 代表取締役 川崎 一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

土壌調査等（詳細調査）結果報告書（第28号様式）又は土壌調査等（搬出土壌調査）結果報告書（第29号様式）と同一名称を記載して下さい。

川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例第82条第2項の規定により、次の対象地について汚染土壌等の処理対策を実施しますので、その計画を次のとおり提出します。

名 称	○○工業株式会社川崎工場 □□□工事	
所 在 地	(住居表示)川崎市○○区○○町○○丁目○-○ (地番表示)川崎市○○区○○町○○丁目○番-○ 住居表示と地番表示の両方を記入してください。	
汚 染 土 壌 等 の 処 理 対 策 の 種 類	<input type="checkbox"/> 汚染の除去（対象地内対策）	別添のとおり 対象地内にて汚染の除去（原位置浄化）を行う場合にチェックを入れてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 汚染の除去（対象地外対策）	別添のとおり 掘削除去を行う場合にチェックを入れてください。
	<input type="checkbox"/> そ の 他 の 対 策	別添のとおり 汚染の除去以外の対策（舗装、封じ込め等）を行う場合にチェックを入れてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 処 理 期 間 中 の 対 策	別添のとおり

備考 □のある欄には、該当する□内にレ印を記載してください。

汚染土壌等処理対策実施計画書チェックシート <詳細調査>

- 書類は2部（正本・副本）提出してください。
- 図面は、方位がわかるように記入してください。

		注意点等	チェック欄
1	計画の概要	下記を参考に概要を記載する。	
	1-1 調査対象地の所在地	—	
	1-2 工事の概要	工事の目的、面積、掘削深度、搬出予定土量、汚染の除去等の措置の有無等を記載する。	
	1-3 実施期間	対策開始日、汚染土壌搬出期間、汚染土壌の処理完了予定日等を記載する。	
2	汚染の状況を表した資料	汚染の状況を平面図や一覧表などで示す。	
3	対策方法を表した資料	計画内容をフローチャート、文章及び図面等で記述する。	
4	【汚染の除去等を実施する場合】 汚染の除去等の措置の内容	汚染の除去等の措置の内容が分かるようにフローや図面等で示す。 効果確認の地下水調査を実施する場合は調査地点を示した図面を添付する。	
5	施工体制及び緊急連絡体制表	発注者、元請等の汚染土壌対策工事に伴う施工体制を示す。 緊急連絡体制表の連絡先に「川崎市環境局」を含める。	
6	工程表	汚染土壌に係る工程及び搬出時期を示したものを添付する。	
7	対策後の状況を表した資料	対策後の汚染の状況を平面図や一覧表などで示す。 汚染土壌を残置する場合は管理方法（地下水モニタリングや舗装等）を記載する。	
8	【土壌を敷地外から搬入する場合】 搬入土の品質管理	環境省告示第6号に定める方法に基づく品質管理を行うことを記載する。 なお、敷地内の土壌を埋戻し材として利用する場合は汚染がない土壌であることを記載する。	
9	【モニタリングを実施する場合】 周辺環境モニタリング	周辺環境モニタリングを実施する場合は、モニタリング計画を記載する。	
10	周辺環境保全対策	汚染土壌の飛散、流出及び仮置きによる二次汚染の防止対策を記載する。汚染土壌の積込時における飛散等の防止、運搬車両及び容器等その他留意事項を記載する	
以下、汚染土壌を外部へ搬出する場合に添付する資料			
11	運搬フロー	汚染土壌を搬出する場所から汚染土壌処理施設までの汚染土壌の流れをフローで示す。 把握している場合は、二次処理施設まで記載する。	
12	汚染土壌処理施設の許可証の写し	複数の処理施設へ搬出する場合はすべて添付する。	
13	使用予定の管理票の写し	使用前に確定する項目はすべて記載する。	

汚染土壌等処理対策実施計画書チェックシート <搬出土壌調査>

- 書類は2部（正本・副本）提出してください。
- 図面は、方位がわかるように記入してください。

		注意点等	チェック欄
1	計画の概要	下記を参考に概要を記載する。	
	1-1 調査対象地の所在地	—	
	1-2 工事の概要	工事の目的、面積、掘削深度、搬出予定土量等を記載する。	
	1-3 実施期間	対策開始日、汚染土壌搬出期間、汚染土壌の処理完了予定日等を記載する。	
2	汚染の状況を表した資料	汚染の状況を平面図や一覧表などで示す。	
3	対策方法を表した資料	計画内容をフローチャート、文章及び図面等で記述する。	
4	施工体制及び緊急連絡体制表	発注者、元請等の汚染土壌対策工事に伴う施工体制を示す。 緊急連絡体制表の連絡先に「川崎市環境局」を含める。	
5	工程表	汚染土壌に係る工程及び搬出時期を示したものを添付する。	
6	運搬フロー	汚染土壌を搬出する場所から汚染土壌処理施設までの汚染土壌の流れをフローで示す。 把握している場合は、二次処理施設まで記載する。	
7	運搬経路	搬出先までの運搬経路を示す。	
8	汚染土壌処理施設の許可証の写し	複数の処理施設へ搬出する場合はすべて添付する。	
9	使用予定の管理票の写し	使用前に確定する項目はすべて記載する。	
10	【モニタリングを実施する場合】 周辺環境モニタリング	周辺環境モニタリングを実施する場合は、モニタリング計画を記載する。	
11	周辺環境保全対策	汚染土壌の飛散、流出及び仮置きによる二次汚染の防止対策を記載する。汚染土壌の積込時における飛散等の防止、運搬車両及び容器等その他留意事項を記載する	